




## 今回のくろゆり通信は、入谷のお話です。

入谷は、古くは「にるや」「いるや」と呼ばれていたと伝えられています。

「にるや」については建御名方命の伝説のなかで、狩りをして鹿を射止め、このあたりからわき出してきた塩水で鹿を煮たところから「煮るや」と言ったといわれ、また「いるや」は、平家の落人が入った「入り野谷」からきたとも言われています。

この平家の落武者の言い伝えから、かつて入谷では、正月の松飾りに柳の木を使っていました。これは、平家が一の谷の戦いでやぶれたのが裏山の松の木を伐採した為という戒めから、松の木を伐らずに倒れてもまた根元より芽吹いてくる柳を門松の代用としたとされています。

ろくべん館の中川豊様にご協力いただきました。



### 鉱泉の出る砂防ダム

#### 入谷 塩壺

この塩壺は今より約800年前のことで、建礼親王(平家)の落武者数人が逃入谷(山崎)に落ちたといわれ、この地帯に塩水が湧き出たといわれ、この塩水で鹿を煮たところから「煮るや」と言われたといわれ、また「いるや」は、平家の落人が入った「入り野谷」からきたとも言われています。

この平家の落武者の言い伝えから、かつて入谷では、正月の松飾りに柳の木を使っていました。これは、平家が一の谷の戦いでやぶれたのが裏山の松の木を伐採した為という戒めから、松の木を伐らずに倒れてもまた根元より芽吹いてくる柳を門松の代用としたとされています。

ろくべん館の中川豊様にご協力いただきました。

主な成分  
ナトリウム、塩化カルシウム  
一塩素イオン、二塩素イオン  
硫酸水素イオン、三塩素イオン

大鹿村教育委員会 鹿 村



現場近くには、以前の砂防ダム工事の時に噴出した鉱泉のいわれを書いた看板が有ります。そこから川に向かって下りていくと源泉タンクが有り、現在も使用されています。

入谷から川沿いに下ったところにある「鹿塩温泉」も、塩の湯として有名です。源泉は海の水のように塩辛いのに、お風呂に入っても海水浴の後のように体がべたつかないのはとても不思議です。

## 入谷の自然に配慮して地すべり対策工事をおこなっています。



完成予想図

現場の沢に、自生のわさびが生えていました。ちょうど工事ヶ所にあたるので、株のまま植え変えをしました。わさびが根付き、来年も新しく芽吹き、花が咲くことを祈っています。



現在、入谷の地すべり対策として法枠工、横ボーリング工、布製型枠工、コルゲート敷設工を4箇所で行っています。皆様のご協力をお願い致します。

現場代理人  
北林 修



連絡先  
神福建設株式会社  
現場事務所  
TEL 0265-39-1055

平成16年度  
天竜川水系  
入谷地すべり対策工工事